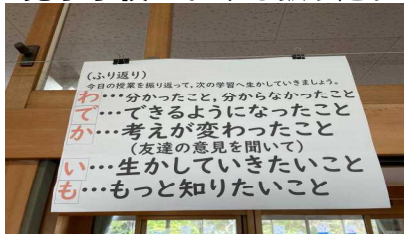


学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南九州市立知覧小学校	児童生徒数	254人
-----	------------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

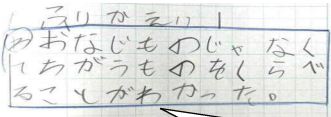
〈知覧小学校における振り返りの視点〉



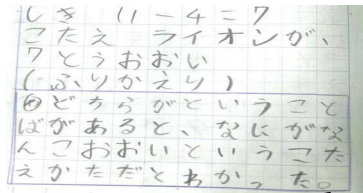
← 教室横に掲示

ノートの最後に5つの観点の中から1~2つ、絞り(児童が自主的に選択or教師が指定)振り返ることができるようにしている。

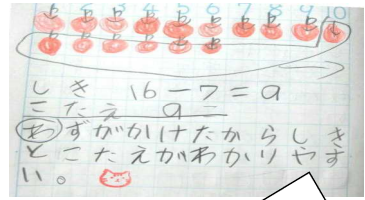
① 低学年(1年)



「わでかいも」の「わ」で振り返っています。ひき算において、同じもの同士でなくても計算ができることが分かったことを書いています。



「わでかいも」の「わ」で振り返っています。今日学習して分かったことが何か明確になっています。

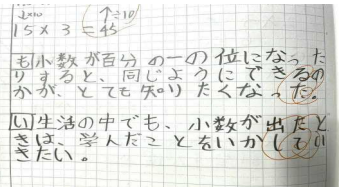
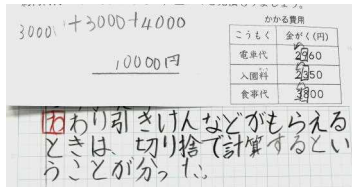


「わでかいも」の「わ」で振り返っています。図を使うことで立式や答えが分かりやすくなること実感できています。

② 中学年(4年)



振り返りをしている様子



算数での振り返り



③ 高学年(6年)

授業の終わり5分で「わ・で・か・い・も」の中から2つ、収穫のあったことを記入



道徳での振り返り

取組についての概要(成果)

- 「わ・で・か・い・も」の意味や取り組み方を共有し、「教える側の先生も、学ぶ側の自分も、一時間の学習の終わりに自分の変化や成長を感じられるようにしよう。」と話した。
- 発達段階に応じて振り返らせている。1年生は「わ」と「で」で、自分が特に感じたことを短く書くことを意識させている。本時で自分が理解したこと、理解できなかったことが整理できたり、次時への意欲につながったりしている。教師側は、子供の思いを見取ることができる。
- 体育の時間には、「で」で振り返り、自分や友達のできるようになったことを見付けたり聞いたりすることで、次への意欲につながっている。
- 「話し合い活動」においても「振り返り」を行っている。めあてを振り返り、議題について自分事として考えたり、友達の意見と自分の意見を比べたりして、もっと「か」を意識させる振り返りができるようにしていきたい。
- 記入用紙を作成し、授業の終わり3分で記入させた。提出されたものに目を通すと、今まで見えなかった子供たちの気持ちの変化や成長の様子が伺えた。
- 最後に記入させることで、子供たちも「わ・で・か・い・も」の中の何か一つでも自分に役立つ収穫があるようにしようと、今までよりも集中して学習に取り組むようになった。また、書くことで自分の変化や成長に気付き、自己肯定感にも繋がるように感じた。
- 振り返りが習慣付くことで、授業の終わりに発表し合ったり、掲示してお互いに読み合ったりさせることで、子供たちの学び合いにもつなげていきたい。